


所 属	ライフデザイン学部ライフデザイン学科(子ども生活学専攻)		
主な担当科目	基礎技能(造形)、保育内容(表現)、保育内容(環境)、保育実習関連科目		
	氏 名	石川正一	
	フリガナ	イシカワショウイチ	
	職 位	教授	
	学 位 等	教育学修士	
研究内容・社会業績等			
<p>幼児の造形教育について研究しています。最近では、日本の豊かな自然素材が人間の文化創造にどう役立ってきたのか。特に竹の果たしてきた役割を研究しています。また、さまざまな自然素材をどのように教材化すればよいのか考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本保育士学会会員</li> <li>・日本美術教育連合会員</li> </ul>			
論文・書籍・資格等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の立体表現についての研究(2)－3歳児の粘土作品の「技法形」の分類とタイトルとの関係－ 日本保育学会第47回研究論文集</li> <li>・子どもと教師のための造形技法, 共著, 建帛社, 1994</li> <li>・生活化教育の理論と実践, 共著, 三晃書房, 1996</li> <li>・保育用語辞典, 共著, 一藝社, 2006</li> <li>・特許第3772135号 発明の名称 竹材玩具とその製造法 取得年月日 平成18年2月17日</li> <li>・幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭免一種許状・養護教諭免許状・船舶2級免許・電話級アマチュア無線技師</li> </ul>			
学生へのメッセージ			
<p>萩市の豊かな自然は、ものづくりの原点が楽しめる所です。我々の生活を支えている衣食住は今や買うことばかりです。しかし、長い間人類はそれらを作って生きてきたのです。身の回りにあるいろいろな物を、あなたは作れますか。例えば、人間が生きていく上で大切な食事の風景を思い出して下さい。そこには茶碗や箸などの食器類、そして、いろいろに調理された食べ物があります。それらをもし、全てあなたが作ろうとしたら、どうですか。豊かな自然が欲しくありませんか。そして私たちは体の中に作って生き、生きながら作ろうとする原点があるのです。それを子どもの遊ぶ姿の中にみることができます。子どもの生活を見つめ、萩の豊かな自然の中で生きる原点を見つけながら、ものづくりの意義を一緒に考えてみませんか。</p>			